

★ R.I.2660 INTERACT・NEWS ★



SCRUM

No.
31

海外研修報告
年次大会報告
クラブ活動報告



報告書

ホストクラブ：四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インターラクタクラブ

スポンサークラブ：大阪南西ロータリークラブ

目 次

*発刊にあたって	1
*2005～2006年度 新入生歓迎会報告	2
*2005～2006年度 海外研修報告	4
*2005～2006年度 年次大会報告	20
*各インタークト活動報告	28
◆清風学園I.A.C.	
◆大阪桐蔭中学・高等学校 I.A.C.	
◆浪速中学・高等学校 I.A.C.	
◆四天王寺高等学校・中学校 I.A.C.	
◆金光八尾中学・高等学校 I.A.C.	
◆四天王寺羽曳丘高等学校・中学校 I.A.C.	
◆相愛中学・高等学校 I.A.C.	
*インタークトクラブ名簿	36
*編集後記	44

SCRUM No.31発刊にあたって

インターラクタークラブは、14歳～18歳の中学・高校生を対象とした学校単位で活動するクラブです。

活動の主な目的は、地域社会への奉仕と国際理解を深めることです。そしてインターラクターは、活動を通して将来のロータリアン思想を育みます。

2660地区の現状は7RCの提唱で、7IACのインターラクター89名が顧問の先生19名と共に活動されております。

主な活動としては、6月に新入生歓迎会を羽衣青少年センターで行い、バーベキューや杉板の表札作りなど、インターラクター同士の交流を深めました。

8月には海外研修としてシンガポールに行き、現地インターラクターと終日行動をともにして、市場や子ども施設を訪問し、しっかり交流を深めました。

11月には年次大会を相愛中学・高等学校で開催し、155名が参加して、活動報告のあと行った『御堂筋の清掃活動』の様子はテレビ・新聞でも大きく報道されました。

SCRUMでは、このような活動内容を詳しく報告いたします。

改めてこのような活動を通して、この社会に生きる若者として、少しでも喜びと感動を感じ、これからの活力にしてもらえれば幸いです。

なお末尾になりましたが、今年度の活動を主導されたIACと顧問の先生方、および提唱RCの方々、またSCRUM編集発刊にあたり、担当いただいた四天王寺羽曳丘中学・高等学校の顧問の先生、提唱の大坂南西RCの皆様に厚く御礼申し上げます。

有難うございました。

2006年1月12日

国際ロータリー第2660地区

インターラクター委員会

委員長 田中 啓之

新入生歓迎会

平成17年6月5日(日)
於 大阪府立羽衣青少年センター



金光八尾高等学校インターラクトクラブ 2年 須齊 正也

6月5日にインターラクトの新入生歓迎会があった。

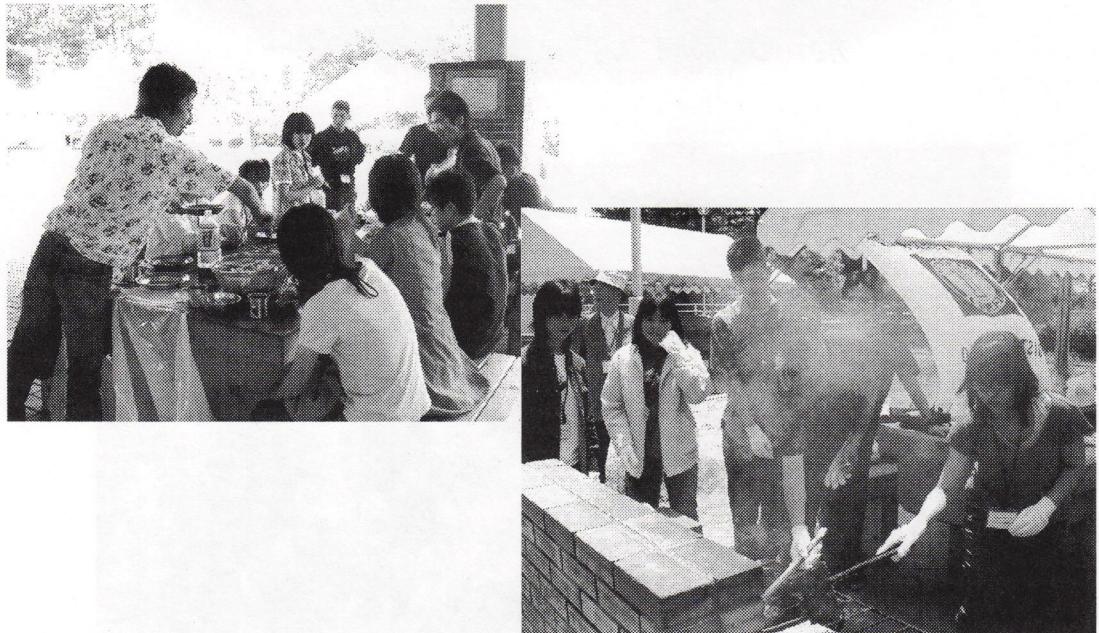
そのときはまだ金光八尾のインターラクトの部員は自分ひとりだけだったが、その歓迎会に金光八尾から2人体験入部という形で参加してくれた。今度の海外研修が金光八尾は幹事校なので少しでも人数が増えてくれて助かったと思う。

今回の歓迎会は去年と同じバーベキューと、去年にはなかった焼き板だった。バーベキューは火起こしの時に着火剤からいきなり炭に火をつけようとするのでなかなか点いてくれず結構苦労したし、それ以上に大変だったのが、焼き板をたわしで擦ることだった。焼き板のために板を焼くのも難しかった。板を焼くにはガスバーナーを使えば簡単で均等に焦げ目をつけることができるが、火なので場所によって火力も違うし、柵の棒も太いので焼きすぎたものがあれば、全然焼けていないものもあったので大変だったが、それを磨くほうがもっと大変だった。

板のツヤを出すために結構力を入れて磨かなければならなかつたし、炭が服についたらと苦労したが、おそらくこの経験をした人はそんなに多くないと思う。焼き板のペイント

時は何を書こうか迷った挙句、シンプルに日付などを書いたが、あとで勧誘用の看板にしてもよかったなと思った。

また相愛のインタークトがビデオカメラで各部長にインタビューをしていたが、そういうのは苦手なので、ばれないようにしていたのにすぐばれてしまって、下手な自己紹介をする羽目になってしまった。



2005年6月5日新入生歓迎会に参加して

清風学園インタークトクラブ 1年 榎本 秀宗

6月5日の日曜日、大阪府立羽衣青少年センターというところで、新入生歓迎会が行われました。今回はバーベキューなどを通じて新たなインタークトターを歓迎して、他校の生徒たちと交流や親睦を深めることが目的でした。当日の天気は快晴で、最高のバーベキュー日和でした。初めに、新入生の歓迎会に参加している学校の紹介がありました。僕は、前回この行事に参加していなかったので、どれくらい新入生がいるかわからなかったが、とてもたくさんの仲間がいるので驚きました。

やがて、各班に分かれてバーベキューの準備に取り掛かりました。僕は炭で火をおこすことになりました。最初はなかなか炭に火がいかなかった。でも新聞紙に火をつけて火をおこすとうまく火が点きました。それはよかったです、新聞紙を燃やしすぎて、焼き始めの肉には、灰がいっぱいについて、一部食べられないようなものがありました。それでも、班のみんなとわいわいがやがや、おいしく食べることができてよかったです。

歓迎会では充実した一日が過ごせて本当によかったです。これからもいろいろな活動に積極的に参加していきたいと思います。

2005年度 国際ロータリーインターラクト

シンガポール研修

2005年8月6日(土)～8月10日(水)

月 日	地 名	現地時刻	日 程
【1日目】 8/6(土)	関西空港 シンガポール	10:00 12:55 JAL721便 18:20	関西国際空港、集合 JR関西国際空港駅「旅立ちラウンジ」にて結団式 出国手続き後、空路、シンガポールへ シンガポール到着 入国手続き後、専用車にてレストランへ 食後、ホテルへ
【2日目】 8/7(日)	シンガポール		専用車にてシンガポール市内観光と、ショッピング 〔国立ラン園→マーライオン公園→マウントフェーバー→チャイナタウン→リトルインディア→アラブストリート〕
【3日目】 8/8(月)	シンガポール	9:00 ～ 15:30	ロータリークラブ・インターラクト交流 ラッフルズ・ジュニアカレッジにて、スポーツカーニバルに参加、プレゼント交換 ヘンダソン・チルドレン・センターにて日本の学生たちが折り紙の作り方や、紙風船、音の出るゴム風船などの日本の伝統的な遊びの紹介
【4日目】 8/9(火)	シンガポール	23:55 JAL722便	セントーサ島観光 ドルフィン・ラグーン、アンダーウォーターワールド 午後、シンガポール市内の散策、ショッピング 「ナイトサファリ」観光 深夜、シンガポールより空路、帰国の途に
【5日目】 8/10(水)	関西国際空港	7:20	関西国際空港、到着 着後、入国ならびに税関手続き、解散

◆参加者名簿◆

区分	学校名	氏名
ロークリーク ロータリーラン	阪南ロータリークラブ	和田 健
	大東ロータリークラブ・地区IAC委員長	田中 啓之
	八尾ロータリークラブ	植 健次
	八尾ロータリークラブ	稻田 明人
引率顧問	清風学園	中村 明夫
	大阪桐蔭中学・高等学校	仲谷 浩一
	浪速中学・高等学校	大塚 真紀子
	四天王寺学園中学・高等学校	白崎 貢
	金光八尾中学・高等学校	前田 裕子
	四天王寺羽曳丘中学・高等学校	金崎 桂梧
	相愛中学・高等学校	土谷 直子
		川西 清史
インター アクター	清風学園	中嶋 宗一郎
		廣瀬 浩明
		村上 勝俊
		中西 祐貴
		佐々木 良輔
	大阪桐蔭中学・高等学校	瀧上 真澄
		成田 美穂
		鈴江 祐希
		高橋 良輔
		横井 和也
	浪速中学・高等学校	六車 康平
		坂本 佑吾
		尾上 律男
		山川 理佳子
		井上 知美
	四天王寺学園中学・高等学校	大谷 祥代
		町田 真優
		柴田 美波
		辻 有輝子
		藤田 有可
	金光八尾中学・高等学校	山中 唯
		須齊 正也
		後藤 大輔
		木田 陽祐
		山口 瑞穂
	四天王寺羽曳丘中学・高等学校	上田 悠郁子
		久米 真帆
		西澤 祐希
		橋本 幸枝
		元村 恵梨
	相愛中学・高等学校	酒井 香奈

シンガポール海外研修を振りかえって

2660地区インタークト委員長 田中 啓之

05～06年度海外研修は8/6～8/10の予定で第3310地区のシンガポールを訪問しました。日本からはインタークター32名、顧問8名、ロータリアン4名が参加し、現地では第三日目にインタークター38名、日本語研修生15名と顧問の先生などが多数迎えてくれました。

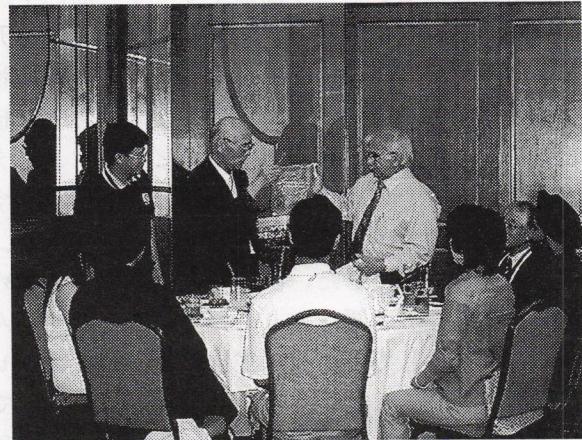
第一日目は夕食後、ホテルのミーティングルームで、第三日目に備えてみんなで折り紙や、風船細工の作り方を習い、コーラスを何度も練習しました。みんなの連帯感ができたと感じました。

第二日目は日曜日でしたが、多民族を象徴するような街を順に廻りました。熱気溢れる街、チャイナタウンは、何でもありますという混雑ぶりでした。次に行ったインド人街は道路を挟んで金製品の装飾店がズラリと並んだ光景に金がとても好きなのだ、と思いました。次いで、アラブ人街でしょうか、イスラムの礼拝堂の門前に静かに並んだ雑貨店街は、これで商売になるのかしらと思いました。一日でまったく個性の違う人たちやお店に接することができて良かったですね。

第三日目はすばらしい交流のできた一日でした。特に良かったのはインタークターが固まらないように8班くらいにバラバラに分けて、そこへ現地インタークターもバラバラに加わって小集団をつくり、行動をともにしたことです。ラッフルズジュニアカレッジではシンガポール独立40周年を記念しておこなわれていたスポーツカーニバルに飛び入り参加したり、校内を回ったりしたあと、近くの大型ショッピングモールに出かけて、それぞれのグループごとに気に入ったお店で買い物をしたり、一緒に昼食を取ったりプレゼントを渡したりしました。

最後に一緒に訪れたのは、ヘンダーソン子供施設です。ここには4～10歳くらいの共稼ぎ夫婦の子どもたちが元気いっぱいに待っていてくれました。もういきなりスキンシップ状況となり、屋外テラスいっぱいに子どもたちと双方のインタークターたちが一緒になって、折鶴を折り、風船細工でうさぎやキリンをつくり、紙風船で遊び、応援風船を飛ばして歓声をあげ、あっという間に時間が過ぎていきました。お別れ前に日本から『世界で一つだけの花』を合唱すると、相手も手拍子をとりながら『エーデルワイス』を民族色を出しながら歌ってくれました。

インタークターたちはお互いに大変充実した交流の時を持てた一日だったと思います。顧問の先生方もロータリアンも一緒に楽しませてもらいました。このような機会を提供してくださいました第3310地区のロータリークラブをはじめ、ラッフルズ、ヘンダーソンの関係各位に厚く御礼申し上げます。



夕食会には、お世話になったシンガポールRC会長シャファニさんや新世代委員長トルシさんと、当初から計画打ち合わせしたオウイさん夫妻を招待して歓談しました。シャファニさんは、神崎ガバナーからの親書を代読して手渡しました。トルシさんのターバン姿はとても印象的でした。

第四日目はセントーサ島めぐりです。島内全部がレジャーランドで、最初にシンガポール全体が見渡せる展望台にのぼり、周囲をグルリと見渡しました。さすがに貿易港ですね。広い太平洋から、たくさんの船がいっぱいの荷物を上げ下ろししている様子や、ビルが林立する町並みは壮観でした。その他めずらしい植物園や昆虫館、イルカショー、水族館などを回ったあと、林間野外施設でビュッフェスタイルの夕食をとり、ナイトサファリで動物の放し飼いを間近に見ることが出来ました。すでに時刻は午後9時。名残惜しいですが、夜行便にむけて、一路チョンギ空港に向かいました。

皆さんいかがでした。少しでも国際理解を深めることが出来たでしょうか。まだまだ見たり、話したり、撮ったりしたいことがたくさんあると思いますが、それぞれの人が感じたことを、そしてよかったです自分に取り入れて成長してほしいと思います。

最後になりましたが、この計画の担当校として準備し、リードいただきました金光八尾中学高等学校の先生方、八尾ロータリークラブの先生方、また協力いただきました各学校、各クラブの皆様、大変お世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。



インターラクト海外研修の感想

RI2660地区 IA委員 大阪阪南RC 和田 健

私にとってIA海外研修への同行は、1990年香港・中山県、1991年シンガポール、昨年の台湾に続き、4度目になります。インターラクターに対する感想は、毎回を通じて同じで、「素直でどんなことにも感動できる前向きな心と、誰に言われるまでもなく自然に出てくるマナーの良さ」です。まずは、ご子女をこのように育てられた保護者の方々と顧問の先生に敬意と感謝を表します。

今年もみんな良くやってくれました。すばらしい交流会だったと思います。皆さんに同行した私は、その活動を目の当たりにして、ますます遣り甲斐を覚えます。ロータリーの標語に「最も良く奉仕するものは最も報われる」というのがありますが、皆さんからもらう感動が私にとっての報酬です。

また他の国のインターラクトクラブ（IAC）との交流に参加することは私たちロータリアンにも、次になすべきことを示唆してくれます。今回訪問したRI3310地区ではロータリークラブ（RC）は67RCあり、24つのIACを提唱しています。また今回お世話になったシンガポールRCは1クラブで12のIACを提唱しているそうです。これに対して私たちの2660地区では86RCで、提唱しているIACが7つです。事情が異なるので単純比較はできませんが、まだまだ努力の余地がありそうです。IACの活動の面でも、交流夕食会後に配られた『Mind from the Soul』と題した、絵と詩の作品集が、心身に何らかの障害を持つ人びとの作品を集めたもので、あなた方の交流したラッフルズジュニアカレッジ（RJC）のIACがDisabled People's Association (DPA) の協力で、彼らのために基金を立ち上げることを期待して作成されたものであることを知ったとき、RCでさえ、手を出しかねる難問にIACが挑戦したことには感動しました。

こんなことに挑戦できるIACに導いた偉大なRCがあることを知り、世界は広いと思いました。これからは私たちも、目標をより高いところにおいて皆さんに接していくべきではないかと感じた次第です。

四天王寺羽曳丘中学校 上田悠郁子・山口 瑞穂

8月6日、関西国際空港から飛行機に乗り、シンガポールへ行きました。初めての海外に少し緊張しましたが、到着したときは、たくさんのビルに囲まれ、日本とはあまり変わらないな、という印象を持ちました。

空港からバスに乗り、夕食を食べにレストランに行きました。初めて食べるシンガポールの料理を楽しみにしていましたが、あまり口に合わず、少し残念に思いました。

その後、ホテルへ行きました。部屋は広く、部屋から眺める夜景はとても綺麗でした。しかしお風呂のシャワーの出し方がわからなくて困りました。たまたま部屋の前を通っていた先生に出し方を教えてもらいました。どの先生か覚えていないのですが、ありがとうございました。これからはじまる海外研修の旅に、胸をふくらませながらベッドに入ると、なかなか寝付けませんでした。

最後になりましたが、協力してくださった先生方、ロータリーの方々、本当にありがとうございました。とても良い経験ができたと思っています。



貴音 西中

四天王寺中学・高校 大谷 祥代・町田 真優・井上 知美

2日目には、市内見学をしました。いろいろな場所に連れて行ってもらいましたが、シンガポールに初めて来た私には、すべてが新鮮に感じ、楽しかったです。

まず最初に行った植物園では、日本では見ることのできない花や草がたくさんありました。さすが南国で、とにかく鮮やかで綺麗でした。その後は、シンガポールで一番高い丘だと言われているマウントフェーバーに行きました。一番高いといっても、100mほどしかないそうです。土地の起伏が少ないという点で、日本との違いを感じました。マウントフェーバーから臨む景色は緑がいっぱい、海の色と見事に調和していました。シンガポールを一望でき、満足しながら私たちが次に向かったのは、今までの雰囲気とはガラッと変わったチャイナタウンです。シンガポールという国の中に、中国が見事に再現されているといった感じでした。売っている食べ物も、飛び交う言葉も、すべてが中国にいるようで、衝撃を受けました。その後も、リトルインディア、アラブストリートと次々に訪れていくうちに、シンガポールという国は、さまざまな文化の歴史をもつ人種が共存し、形成している多民族国家であるということを改めて実感しました。また、寺院の外観に宗教の違いがはっきりと見られましたが、それでも1つの国家として成り立ち、互いに尊重しあっていることに驚きを感じました。

一日という限られた時間の中でしたが、シンガポール市内を自分の足で歩き、目で見て、体感することにより、日本では得られない驚きとたくさんの発見がありました。このような貴重な体験をすることができ、とても嬉しく思っています。本当にありがとうございました。



▶ シンガポールの印象

清風高校 中西 祐貴

シンガポールに着いて一番始めに感じたのは、匂いでした。日本では記憶にない花の匂いがしました。シンガポール独特の香りで、異国に来たことを感じました。

二日目、まず植物園に行きました。花も葉もとにかく大きくて驚きました。人間一人をくるんでしまえそうな大きさの葉もあり、さらには見たこともないような大きな虫が花の蜜を吸っているのを見たときには、少し怖い気がしました。熱帯雨林とはこれほどのものかと感心しました。

定番のオーチャードやエリザベスウォークを歩いた後、チャイナタウンへ行きました。中国文化が匂い立つ一角です。日本の大仏のようなものがテントの中にあったのですが、どことなくインド的な大仏でした。ショッピングセンターに入ると中国服が多数売られていますが、赤系統が多いのが印象的でした。地下は食品売り場で、魚の匂いがきつかったです。

チャイナタウンからほど近いところにリトルインディアもありました。ここはチャイナタウンとはうって変わって、カレーの匂いが強い、美味しそうな町でした。ある店で、手でカレーを食べているところを初めて見ました。聞いて知っていたことも、こうして現場を見ると妙に感動していました。また、金製品しか売っていない店に人が集まっていたりして、日本ともチャイナタウンとも違う熱気に驚きました。

ガイドのケンさんという人が、日本に留学していただけあって日本語も達者で、行く先々でよく説明してくれ、楽しく過ごせました。機会があればシンガポールにまた来たいと思います。そして交流をした人たちとまた会いたいです。

清風高校 中嶋 宗一郎

二日のメインは市内観光である。目的地ごとにバスで移動するのだが、車窓から見える高層ビルの多さには驚いた。その数は予想を超えており、大阪や東京の都心部と変わらない。日本にはないユニークなデザインの高層ビルもあって、圧倒された。さすがはアジアの経済の中心地だ。

植物園、チャイナタウン、リトルインディアと移動するのだが、行く先々で買い物がとても楽しかった。異文化の國の人たちと直に接することが出来たからである。日本人を相手にしていると分かる店を避けると、店員さんは日本語などまるで分からない。英語でしかコミュニケーションをとれないのだが、学校で習っている英語とは勝手が違い、それがまた楽しかった。

シンガポールへは今回初めて来たのだが、この旅行を通じてシンガポールがとても好きになった。機会があれば是非また来てみたいと思う。

大阪桐蔭高等学校 瀧上 真澄

シンガポール滞在3日目、私たちはラッフルズ高校の皆さんと丸一日かけて交流しました。

朝。まず、バスでラッフルズ高校に向かいました。班に分かれ、スポーツカーニバルの行われている校舎内を現地のインタークーターに案内していただきました。校舎はとても広く、開放的で、きれいな建物でした。生徒数は二学年で2000人ほどだそうです。

ポテトチップスを食べながら体育館でダンスや歌を見たあと、連れて行ってもらったのは図書館でした。円形の建物の3階にもわたり、壁に沿って書架が並んでいます。本当に沢山の本がありました。連れられるがままに2階に上がると、日本語コーナーがあり、大変驚きました。外国人向けの日本語学習書や絵本はもちろんのこと、私たちが普段読んでいるような漫画や小説など、多くの種類の日本語の本が取り揃えられていましたが、日本の図書館と少し違ったのは、割合として太平洋戦争についての本が多かったことです。日本に占領されていたことのあるシンガポールの一面を垣間見た気がしました。

お昼時になりました。学校近くのショッピングセンターに行って、班ごとに食事をとることになりました。マクドナルドやケンタッキー、吉野家まであってビックリしました。そういう日本と味比べをしてみたかったのですが、それは叶いませんでした。でも、日本では口にしたことのない料理を食べることができ、少しシンガポーリアンになったみたいで嬉しかったです。食後、少しだけ時間があったのでショッピングコーナーに行くと、日本企業の経営する店舗や、日本の商品が沢山売っていて、同じ班のシンガポールのインタークーターが、「ソニーの商品が欲しい！」と言っていたのが印象的でした。

その後、私たちは日本でいう学童保育の施設を訪れ、子どもたちと日本から持ってきた折り紙やゴム風船をしたり、シンガポールのインタークーターが司会となってゲームをしたりしました。1つおもちゃを渡したら、それに群がって夢中になって遊んでいる姿を見ると、「子どもはどこにいてもやっぱり同じなんだな」ということを実感しました。そして最後に、私たちが日本の歌として『世界に一つだけの花』を披露したところ、向こうの人は結構知っていたようで、嬉しかったです。というのも、シンガポールでは日本のドラマや映画のDVD、漫画やCDなどが沢山売っているそうで、同じ班の人も沢山日本の芸能人や作品を知っていて、何度も「日本に行きたい」と言ってくれました。

この一日を振り返って感じることは、日本企業やその製品、芸能作品にしてもそうなのですが、日本人が「いかにも日本的」だとイメージする、例えばキヨウトとかサムライとかそういうものではない、普通の、等身大の日本がシンガポールを初めとして、アジア各国に受け入れてもらえて、憧れを受けている反面、未だに解決しない戦争問題や反日問題を抱えて、日本はこれからさらに国際化が進む世界で、如何にしてアジアの一員として生きていかなければならぬのか、だとか、多くのシンガポーリアンが建国40周年を祝うために赤いシャツを身につけていたのを見て、建国記念日に日本人は特に何も考えないで過ごすが、この違いは何なんだろう、など本当に沢山のことを考えさせられ、とても内容の濃い、有意義な一日だったと思います。

このようなことは日本では味わえない感覚でありますし、普通の観光旅行では考えることのできない事柄だったりするので、今回、インターラクターとしてこのような経験ができて本当によかったです。ありがとうございました。



浪速高等学校 山川理佳子

3日目はシンガポールの学校と子ども施設への訪問だった。この日、学校ではスポーツフェスティバルが行われており、私たちはその行事に参加した。何個かのチームにシンガポールのインタークトクラブの人たちが加わり、いろいろな場所へと案内してもらいました。その間に英語で自己紹介などをして、交流を深めました。学校で学んだ英語でも十分に通じていたのでとても嬉しかった。スポーツフェスティバルも、とても楽しく、特に体育館で行われていたダンスや手品などが楽しかった。その後もシンガポールのインタークトクラブの人たちと日本とシンガポールの違いなどについて話をし、シンガポールの文化などを知ることができました。

子ども施設では、子どもたちと一緒に折り紙、紙風船、マジックバルーンなどで遊び、その途中にいろいろな1番を競うゲームをして楽しんだ。子どもたちはどれも一生懸命に取り組んでいて、笑顔はとてもかわいかったです。その後、私たちは『世界に一つだけの花』を歌い、シンガポールの高校生たちは『エーデルワイス』を振りつきで歌ってくれました。

私は今回が初めての海外研修で不安もありましたが、いろいろな人と出会って、不安もいつの間にか無くなっていました。とても良い経験をさせていただいたと思っています。この経験を生かしていくために、これからも頑張っていきたいと思います。お世話になったロータリークラブの方々、各学校の顧問の先生方、どうもありがとうございました。



第4日目

金光八尾高等学校 木田 陽介

シンガポールでの4日目の旅で一番印象に残ったのは昆虫館でした。前田先生が引率してくださり、看板などに記されている英単語などを我々に解答させたりしてくれました。他にもとても優雅な蝶々が飛んでいたりして、友人の背中についたりしたこともありました。しかし生まれたばかりの蝶々を標本にしていたのは、少し心が痛みました。出口には、おじさんが立っていたのですが、なんと蟻を身体中につけていて、笑っておられた。蟻をどうするのかというと、友人たちの身体に乗せたりしていましたが、なんと私にも「無理やり」乗せてきたのです。本当に嫌だったのに。とりあえず何もなくてよかったです。

そして、この旅に参加して、普段日本においては学べないことがたくさんありました。この旅に参加した価値がとてもあります。ロータリークラブのみなさん、そして学校の先生方、言葉では言い切れないほど感謝しています。

シンガポールに行く前は、英語に関しては何とかなるだろうと思っていましたが、全然聞き取ることができなかったり、話すことができなかつたので、もっともっと英語を勉強しなければならないと思いました。自分の不甲斐なさに落胆しました。今後はそんな面をしっかりしないといけないと思いました。

金光八尾高等学校 松本 陽祐

シンガポールに来て4日目の朝がきました。今日はセントーサ島を中心観光することになっています。昨日の寝不足のせいか、今日は朝から体が疲れていました。

まず、最初に行った昆虫館では世界のいろいろな昆虫を見ました。世界にはたくさんの種類の昆虫がいるのにはすごく驚きました。特にチョウチョの部屋では見たことのないチョウチョがたくさん飛んでいるのには感動しました。

次に行ったイルカショーではピンクドルフィンがいると聞いてとても楽しみでした。しかし、実際にはピンクの色はあまり見えなく、ふつうのイルカと同じようだったのは残念でした。ショーカーの方はよく見るイルカショーと同じだったので、いまいちだったけれど、イルカに会えたことはとてもよかったです。

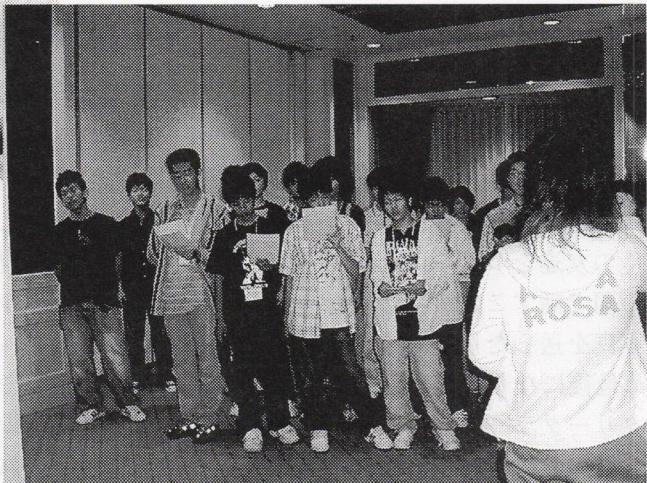
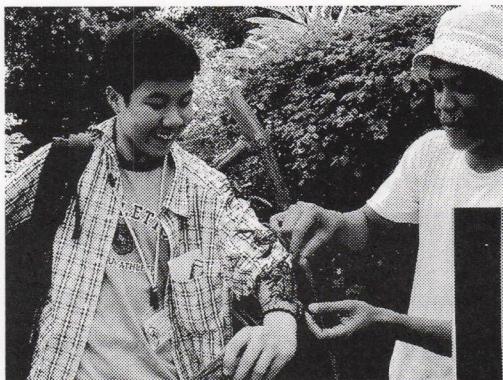
水族館は個人的に一番楽しみにしていたので、本当に楽しめました。サメやピラニアなどの肉食の魚や熱帯魚は見ているだけで癒されます。クラゲもいたけれど、あの動きはいつ見ても不思議な気持ちになります。

昼食をはさんで免税店では、昨日まで行っていた店とは全く違う都会の店だった。安くはなっていたけれどお金のなかった僕にはあまり関係ないことだった。それでも、お土産は3個くらい買った。

最後のナイトサファリも楽しみの1つだったけど、今までの疲れがピークにきて、行く

ことを断念してしまいました。

疲れはあったものの1日でたくさんのところを回り、したことのない経験もでき、結果的にはいい1日だったと思いました。



全 体 を 通 し て

相愛高等学校 元村 恵梨

8月6日から8月10日までの3泊5日のシンガポール海外研修について報告させていただきます。

8月6日私たちは期待と不安を胸に関西空港に集合しました。そして旅立ちラウンジでの結団式を終え、大阪ロータリークラブ、インターラクト委員長の塩野さんのお見送りで関西空港を旅立ちました。

シンガポールに到着するときには、長旅とあってみんな少し疲れた様子でしたが、私たちはホテルから見える素敵な夜景を見ているうちにいつの間にか疲れなど吹き飛んでいました。

2日目はシンガポールのさまざまな観光名所を見学しました。シンガポールの象徴であるマーライオンや国立ラン園のきれいな花、そして、とても活気のあるチャイナタウンの市場なども訪れました。私がこの日、一番印象的だったのは夕食の「スチームポート」です。見た目は日本で言うしゃぶしゃぶのようなものでしたが、中には海老や魚といった魚介類がたくさん入っていてとてもおいしかったです。

私がこの旅行で一番楽しみにしていたのは、ラップルズ・ジュニアカレッジのインター アクトのみんなとの交流会でした。この学校は、広大な敷地で生徒数も多く、みんなとても明るく親切に接してくれました。ここには、中国系、インド系などのさまざまな人種の生徒がいて、私たちが訪問したとき「スポーツ・カーニバル」を行っていました。これは日本でいう「文化祭」のようなもので、ホールでは歌やダンス、日本製のテレビゲームなど、とてもユニークな出し物があり、とても楽しむことができました。このあと、一緒にご飯を食べたり、買い物をしているうちに初めは慣れない英語にとまどっていた私でしたが、自然に自分から話しかけられるまでになっていました。

その後のヘンダンソン・チルドレンセンターでは好奇心旺盛な子どもたちばかりで、日本の伝統的なおもちゃにすごく興味をもってくれ、言葉の壁を感じることなく一緒に楽しむことができました。

そして最終日のナイトサファリでは絶滅寸前の動物もたくさん見れ、とても貴重な体験をすることができました。ナイトサファリを見終わったあと、空を見上げると大阪では見たことのない、とてもきれいな星が出ていてとても感動しました。

今回の旅行は、日本では体験することのできないたくさんの経験をすることができ、多くの友達をつくることができました。ラップルズ・ジュニアカレッジでできた友達とは短い間で話すことができなかったお互いのことをメールでやり取りをしたり、一緒に撮った写真を送ったりと、帰国後も交流を続けています。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会や出会いを与えてくださった大阪ロータリークラブの皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。そして今回の経験を生かし、今回の旅行で得ることのできた友達を大切にし、これからの中の国際社会の役に立てる人になっていけるように頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



シンガポール海外研修報告

大阪桐蔭中学高校インターラクトクラブ顧問 仲谷 浩一

8月6日(土)～10日(水)までの3泊5日の日程でシンガポールに行ってきました。

2660地区インターラクト委員長田中先生を団長として7校のインターラクター32名、顧問8名、ロータリアン4名の計44名がこの研修に参加。このうち大阪桐蔭高校インターラクターは高校生6名(男子3名、女子3名)が参加させていただきました。

2日目の市内観光では、チャイナタウン、リトルインディア、アラブストリートを時間にとって見学することができました。バスで10分ほどの距離でどの町もそれぞれ独特的な文化が色濃く表れています。ご存知のとおりシンガポールという国は中国系、マレー系、インド系、アラブ系などの人びとが混じって生活している多民族国家です。実際に1つの国の中には多くの文化が混在している風景を目の当たりにして改めてこの国の多民族社会に部員たちは興味をもったのではないかでしょうか。日本では味わえない異文化に心を動かされたようです。

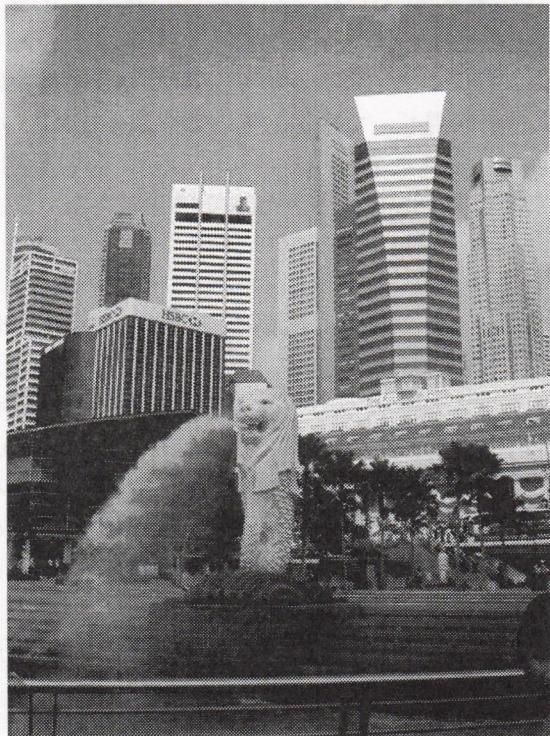
3日目は研修の中でも最もメインとなる行事、シンガポールのインターラクターとの交流会が予定されていました。朝から部員たちは期待と不安と興奮でそわそわした雰囲気が感じられました。上手く交流できるのか、英語でコミュニケーションがとれるのか、こんなことを聞いてみたいな、どんな学校なのだろう、など様々な思いを胸にバスに乗り込んだようです。交流した学校はラッフルジュニアカレッジスクールという17歳から18歳の生徒が通う学校で、当日はスポーツカーニバルが行われていました。その学校にインターラクトクラブがあり、班に分かれてその部員たちに学校を案内してもらいました。バスケット、テニス、サッカーなどのスポーツ観戦、教室で体を動かしながらのテレビゲームでの対戦、また講堂でのコンサートを見たりと、とても楽しい一時を過ごしました。シンガポールのインターラクターは一生懸命に私たちをもてなしてくれました。また、リーダーシップを発揮して積極的に交流を図っていました。この学校はシンガポールの中でも最も難関な学校の一つで優秀な生徒が集まっているそうです。話を聞くと将来医者になりたい、弁護士になりたい、官僚になりたい、早稲田大学に留学したいなどの目標を胸に抱いていました。その後、班ごとにシンガポールの部員たちと一緒に市内で昼食をとったり、ショッピングを楽しみました。わきあいあいとした雰囲気の中、楽しそうな部員の様子が見られました。午後からはシンガポールのインターラクターと一緒にヘンダーソンチルドレンセンターを訪れました。ここは両親が共働きで家に帰れない子どもたちを預かっている施設です。前日の夜、私たちはマジック風船や折り紙、歌(世界に一つだけの花)の練習をしてのぞみました。子どもたちは小学生の低学年でシンガポールのインターラクターにとてもなついていました。日頃からよく訪問しているのだなあと感じました。それに引っ張られるように日本の部員たちも楽しそうに子どもたちと一緒に遊んでいました。最後には練習の成果もあって歌は大成功。大きな拍手をいただきました。

最終日に我が校の生徒が風邪をひき、空港で40℃の高熱を出し、飛行機に乗れないというハプニングがありました。同じホテルで私ともう1泊することになりました。病院で点滴

をうけ、みんなとは1日遅れで日本に帰国しました。その際は大変心配をおかけしました。

短い時間ではありましたが、同世代の若者が国を越え語り合っている姿は微笑ましくすばらしいものでした。日本では味わえない異国での交流は一人一人に印象深く心に刻まれたことでしょう。今後的人生・活動に役立ててもらいたいと思います。

最後に改めて企画段階から当日の引率に至るまで援助いただいたインターラクト委員長の田中先生をはじめとするロータリークラブの先生方、各校顧問の先生方、旅行会社の方々に心からお礼申し上げます。どうもありがとうございました。



2005～2006年度
国際ロータリー第2660地区
インターラクトクラブ年次大会



と き：2005年11月20日（日）

場 所：中央区本町・相愛学園講堂

ホスト：相愛中学・高等学校インターラクトクラブ

《プログラム》

9：30 受付・登録開始（相愛中学・高等学校 講堂）

10：00	【開会式】司会	相愛中学高等学校	堀 香菜子
	点鐘・開会宣言	IAC地区代表	元村 恵梨
	国歌・IACの歌斎唱	ソングリーダー相愛中学高等学校	植松香名子
	開会の言葉	地区インタークト委員長	田中 啓之
	歓迎の言葉	大阪ロータリークラブ会長	江崎 勝久
	来賓・参加クラブ紹介	大阪ロータリークラブインタークト委員長	塩野 秀作
	来賓挨拶	国際ロータリー第2660地区ガバナー	神崎 茂
	幹事校校長挨拶	相愛中学高等学校校長	菅原 俊軌
	参加インタークトクラブ活動紹介	参加校（7校）	各インタークトクラブ代表

11：10 休憩

11：20	新入生歓迎会・海外研修ビデオ上映20分	相愛中学高等学校	
	感想文発表（5分）	大阪桐蔭高等学校	瀧上 真澄
	掃除区域分担説明（15分）	相愛中学高等学校IAC会長 相愛中学高等学校IAC副会長	元村 恵梨 酒井 香奈

12：00 昼食

12：45 共同作業〈御堂筋の清掃活動〉

～～各班に分かれて北は大阪市役所・南は大丸周辺まで清掃～～

14：30 【閉会式】

インタークター代表の感想	浪速高等学校	泉 俊行
講評	地区新世代合同委員長会議議長	井上 瞳夫
次年度ホストクラブ（浪速中学高等学校）への引継		
閉会宣言・点鐘	IAC地区代表	元村 恵梨

15：30 解散・後片付け

★★★★参加者名簿★★★

第2660地区ガバナー	神崎 茂	新世代合同委員長会議議長	井上 嘉夫
-------------	------	--------------	-------

大阪RC	津江 明宏	大阪南RAC	池田 龍介	大阪桐蔭中学高校 IAC	磯村 淳
大阪RC	稻畠勝太郎		三宮 和晃		柿原 貴興
大阪RC	出口 湛龍		森本 秀樹		木村 智子
大阪RC	石原 福造		岩波 啓明		大塚真紀子
大阪RC	松岡 一郎		田辺 隆之		泉 俊之
大阪RC	宮園 雅敬		馬場 晓子		竹内 義宏
大阪RC	岡島 正幸		平山 貴之		青木 辰之
大阪RC	近江源次郎		久富 貴之		金川 尊充
大阪RC	小浦 芳生		池端 瑞穂		尾上 律夫
大阪RC	上野 昌也		前田 浩芳		山川理佳子
大阪RC	山本 一樹	大阪RAC	宮重 美帆	四天王寺中学高校 顧問	岡 宏治
地区幹事	江藤 光哉		守山 敦子		渕野 友未
ホストIAC提唱クラブ会長	江崎 勝久		竹内あかね		藤田 有可
大阪RC	早鳴 茂		長安 公子		山中 唯
大阪RC	樋口 信治		永田 広子		渋野 友里
大阪RC	平岡 龍人				栗原 律子
大阪RC	岩波 清久				金崎 桂悟
大阪RC	嘉納 秀一		門田三生夫		中西 久也
大阪RC	北 秀爾		中村 明夫		柏原 弘和
大阪RC	小林 鴻三		中嶋宗一郎		須賀 正也
大阪RC	眞木 恒行	清風学園 IAC	廣瀬 浩明	金光八尾中学高校 IAC	木田 陽介
大阪RC	南雲 龍夫		榎本 秀宗		後藤 大輔
大阪RC	能村光太郎		百村 誠彩		四天王寺羽曳丘中学高校 顧問
大阪RC	酒井 一		原口 貴臣		土谷 直子
大阪RC	佐野 吉彦		松地 大輝		山本 敦子
大阪RC	佐藤 茂雄		富田 雄介		上田悠郁子
地区IAC副委員長	塙野 秀作		村上 勝俊		道下 麻実
大阪RC	庄野 晋吉		吉村浩太郎		山口 瑞穂
大阪RC	垂井清一郎		三好新太郎		相愛中学高等学校 校長
大阪RC	立野 純三		中西 祐貴		菅原 俊軌
大阪RC	辻本 健二	大阪桐蔭中学高校 顧問	佐々木良輔	相愛中学高等学校 顧問	川西 清史
大阪RC	吉川 秀隆		平山 大祐		井上 泰朗
大阪RC	吉本 仁三		吉田 征二		元村 恵梨
大阪南RC	中北 清		原田 翔太		酒井 香奈
大阪南RC	志村 和久		峠口 侑哉		佐合 尚子
地区IAC委員	松林 寛		仲谷 浩一		久米 真帆
大阪阪南RC	口石 宏三		河津 浩司		鶴見 奈央
大阪阪南RC	河野 利紘		清水 綾美		堀 香菜子
大阪阪南RC	野間 吾郎		瀧上 真澄		長尾真里奈
大阪阪南RC	乃口 忠勝		高橋 良輔		西澤 佑希
大阪阪南RC	谷野 清孝	大阪桐蔭中学高校 IAC	横井 和也	相愛中学高等学校 IAC	北村 菜摘
大阪阪南RC	和田 健		六車 康平		北野美津子
大阪阪南RC	米田 誠治		鈴江 祐希		中村あゆみ
八尾RC	石黒 嘉弘		宮武 光樹		松田 麻里
八尾RC	吉本 寅司		鈴木 江梨		西成 彩夏
大阪南西RC	小池 廣子		田嶋 充貴		小西 望月
大阪南西RC	高山 修治		岩本 行弘		秋山 美紀
大阪南西RC	野々原喜久夫		浅沼 昂佑		
大東RC	石丸 康一		高橋 慶孝		
地区IAC委員長	田中 啓之		若川倖太郎		
大東RC	松原 清一		加畠 文裕		
			勢山 亮		
			遠藤有梨沙		
			瀧上 実紗		

05～06年度 RI2660地区インターラブ年次大会

開会のことば

地区インターラブ委員長 田中 啓之

皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました田中でございます。

日頃みなさまには何かとインターラブにご支援賜り、誠にありがとうございます。また本日は05～06年度国際ロータリー第2660地区インターラブ年次大会を開催しましたところ、皆様大変お忙しい中、地区ガバナーの神崎茂様、地区新世代合同委員長会議議長の井上暎夫様をはじめ、提唱ロータリークラブの皆様方や、ロータラブの方々など多数のご参加をいただき有難うございます。

本日はこれからご来賓の方々のご挨拶や、インターラブの活動報告などを行い、午後には共同作業として“御堂筋の清掃活動”を行う予定であります。

街をきれいにする活動は、地域社会に奉仕することでもあります。インターラブの皆さんは、自らがこのような社会奉仕活動に参加することが、人間性を養っていく大変よい機会を持つことなのです。

日ごろ勉強に忙しい皆さんが、いずれの人たちも、これから社会を背負っていく大切な一員であります。私は皆さんに“つねに心豊かに行動しよう”“つねに心豊かに行動しよう”と訴えていきたいです。幸いここにお集まりの皆さんは、大変心豊かな人たちばかりだと思いますが、世間では常識では考えられないような行動をする若者も存在しております。少しでも多くの若者に、この社会は一人一人が助け合って生きているのだ、ということを分かってほしいと思います。

インターラブは、地域社会への奉仕や国際理解を深めて、健全な心身を養うよい機会を提供できるクラブです。

この8月に、あとで紹介されますが、海外研修としてインターラブ会員ほか44名がシンガポールに行かせていただきました。建国40周年を祝うシンガポールの若者たちが、国旗をかけ、赤いシャツを着て、懸命に良くなりたいと行動している姿は、本当に生き生きとしていました。彼らは戦争の傷跡よりも、現実に良くなりたいという気持ちが強くて、アジアのリーダーとしての日本という国に憧れをもっていました。

いつかは日本を追い越すのだという気持ちは、中国などはもっと強くて、経済的な脅威ともなっておりまます。

日本の若者もうかうかしている時ではないと思います。皆さんはこれからの日本を、いや、世界をリードする一員として視野を広め、大きく且つ心豊かに育ってほしいと願っております。

そしてそのためにインターラブの活動が少しでもお役に立てれば幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり担当校として、計画から準備運営にご尽力されました相愛中学・高等学校インタークトクラブの皆様、提唱ロータリークラブの大坂ロータリークラブの皆様および関係者の皆様、ご協力本当に有難うございました。お礼とともに本日の年次大会が有意義に展開されますことを念じて、開会の挨拶とさせていただきます。

本日はご参加いただき、ありがとうございました。



地区担当ガバナー挨拶

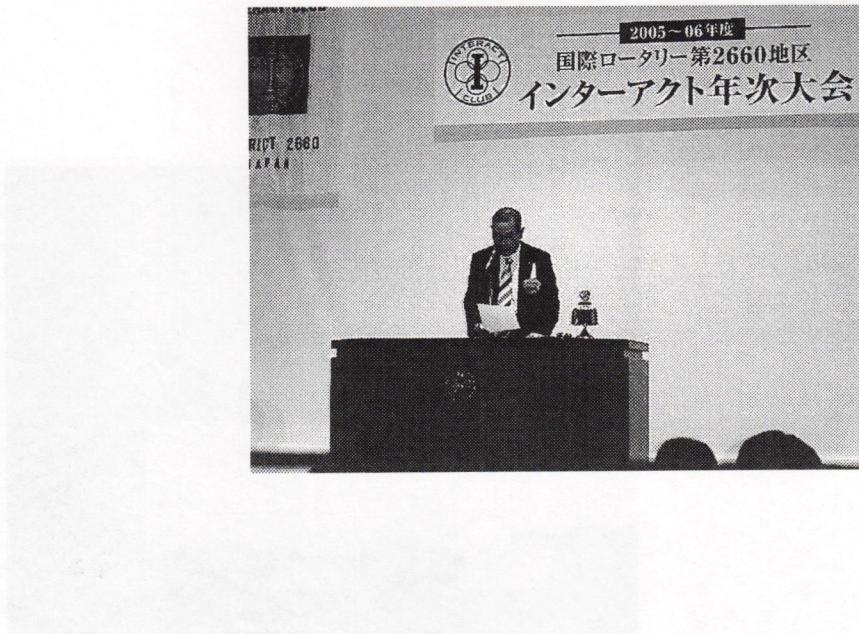
国際ロータリー第2660地区ガバナー 神崎 茂

当地区インタークトクラブ年次大会にメンバーの皆さん、顧問の先生方、地区委員、ホストクラブ、提唱クラブのロータリアンの参加をいただきまして、ありがとうございます。

ロータリークラブは世界168カ国、122万人の会員を有する世界一のサービスクラブです。

ロータリーは青少年の世界的友好を通じて学校や地域社会に奉仕し、国際理解を推進するために、ロータリーによって設立された世界に広がる青少年の団体です。

本日は年次大会を記念して、御堂筋の清掃作業を行います。少しでも大阪の町を清潔にするために一緒に頑張りましょう。そして、奉仕活動を実践することによって「サービスの心」を勉強してください。ご健闘を祈ります。





中高生とロータリーのメンバーが一緒になって取り組んだ御堂筋の清掃活動!! 大阪市中央区

中高生と清掃活動

ロータリークラブ
府内7クラブ参加



▲平成17年11月21日(月) 産経新聞より

府内のロータリークラブと、中高生らが一緒にになって清掃する活動が二十日、大阪市役所から大丸心斎橋店までの御堂筋で行われ、約二キロを約一時間かけて清掃。体を動かしながらの奉仕活動に、生徒たちも充実した表情を見せた。

清掃を行ったのは、七ロータリークラブと、相愛学園や大阪桐蔭、四天王寺など七校のインター！

同学園高校二年、堀香菜子さん（セイ）は「社会経験豊富なロータリーの人。インター・アクトクラブは、ロータリーが青少年作業の重要性を感じ年に社会奉仕と国際貢献した」。また、大阪ロータリークラブの佐野吉彦幹事五二は「高校生と体を立を提唱したクラブで、毎年、共同で社会奉仕活動を行って清掃活動をするこ

動を実施している。今年は街の美化活動への意識を高めようと、大阪の象徴的御堂筋を清掃することに。午後一時すぎ、参加者は相愛学園（大阪市中央区）を出発道端に落ちているたばこの吸殻やゴミ拾い、道を掃き清めていった。

（大阪桐蔭）四年、堀香菜子さん（セイ）は「社会経験豊富なロータリーの人。インター・アクトクラブは、ロータリーが青少年作業の重要性を感じ年に社会奉仕と国際貢献した」。また、大阪ロータリークラブの佐野吉彦幹事五二は「高校生と体を立を提唱したクラブで、毎年、共同で社会奉仕活動を行って清掃活動をするこ

**各インタークラブ
活動報告**

清風学園インターラクトクラブ

清風学園IACの高校1年中嶋宗一郎です。清風学園インターラクトクラブは大阪南ロータリークラブの提唱により、1975年7月に創部されました。現在部員は高校生15名、中学生1名の合計16名で、毎週土曜日2時間ほどの活動をしています。国際奉仕をモットーに国際理解を図るため、普段は英語学習に力をいれています。簡単な自己紹介やちょっとした日常会話の勉強をしています。また本校の姉妹校であるイギリス・オーストラリア・中国からの留学生が、日本での学校生活で困らないように手助けをしたりします。さらに関西で生活されているアジアや中南米の方々とも「何か一緒に活動できたら」と考えています。



今年9月上旬の文化祭では、例年同様、献血運動や盲導犬育成基金の募金活動を行い、1万7381円を盲導犬協会に寄付することができました。そして、今では本校学友会の主催になっている募金活動「アジアに井戸を」では、20万円の募金が集まりました。また少しづつですが「日本ユニセフ協会」と「国境なき医師団MSF」への寄付にずっと続けていくつもりです。

先々月9月19日には大阪南ロータリークラブとインターラクトクラブが合同で、この年次大会に先立って、御堂筋と四ツ橋筋の難波・肥後橋間を4つの班に分かれて、清掃奉仕を行いました。特に四ツ橋筋のごみの多さには驚きました。昼食のあと、ロータリークラブのお姉さんお兄さんたちと、テーブルごとに決められた議題で楽しくディスカッションをして、色々な意見やお話を聞きました。大阪南ロータリークラブの先生方も参加していただきて楽しい1日を過ごしました。

最後に、地区の活動である新入部員歓迎会では、他校の同じクラブの仲間たちとの親睦を、シンガポール海外研修では、言語文化の異なる同世代の同じ目的をもつ多くの友との

友好を、それぞれ深めることができました。このようなチャンスを与え、お世話くださったロータリークラブの先生方、顧問の先生方、本当にありがとうございました。



大阪桐蔭中学・高等学校インタークトクラブ

大阪桐蔭インタークトクラブは、1983年秋に大東ロータリークラブの提唱で発足しました。部員は中学生11名、高校生11名の計22名です。

主な活動は、月1回のミーティングと学校周辺の通学路での早朝清掃活動、提唱ロータリークラブの先生方においでいただき、活動報告をし、卓話をちようだいする例会などがあります。今年の文化祭では、幼くして親を亡くした子どもたちを支援する『あしなが学生募金』を実施し、みんなに呼びかけ、合計62,297円ものご支援をいただきました。またインタークトクラブの活動を教室でパネル展示し、みんなに活動内容を報告しました。また学校近隣の特定非営利活動法人『あとからゆっくり』のお誘いを受け、知的障害をもった児童との交流会を初の試みとして行いました。事前に研修を受け、大学生のボランティアの方たちと一緒に施設でマジック風船やゲームをして楽しいひとときを過ごしました。

また昨年のことではありますが、スマトラ島沖地震による津波の被害にあった方に、募金をしようと考え、まず、全校生徒に被害状況を知ってもらうために掲示板を作り、新聞の切り抜きを貼り、コメントを添えて、募金箱を設置しました。皆さんの協力のおかげで64,462円回収することができ、ユニセフを通じて現地に届けてもらいました。

毎年1月には、書き損じはがきの回収にも取り組んでいます。全校生徒に理解と協力をお願いして、回収したはがきを大阪府視聴覚障害福祉協会に送り、収益金を盲導犬の育成資金に充ててもらいました。

以上、ごく簡単にではありましたが、活動報告とさせていただきました。今後も部員一同、積極的に様々な活動に取り組んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくご支援のほど、お願いします。



浪速中学・高等学校インターラクトクラブ

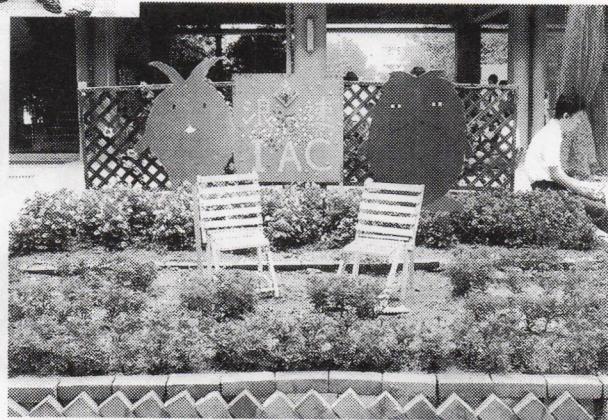
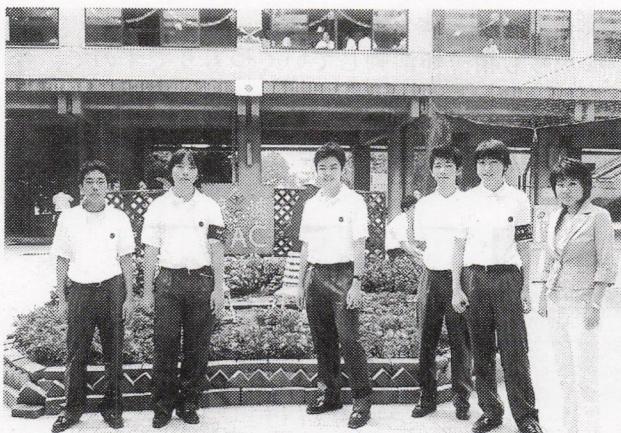
浪速高校インターラクトクラブは、1982年に結成され、現在部員は高校1年生が2名、2年生が4名、3年生が1名の計7名です。本校は今年から男女共学となり、女子部員も入部し、男子校の時にはなかった華やかさが加わりました。

主な活動は1年を通じての学校花壇の制作、WWFへの募金、神社奉仕、海外研修に向けての週2回の英会話レッスンなどがあります。

学校の花壇の制作は年4～5回、季節ごとに作り替えます。今年の文化祭では、「愛・地球博」をテーマにモリゾー、キッコロをベニヤ板で作ったものを花壇の中央に飾り、まわりに色とりどりの花を敷き詰め、来場者の目を楽しませました。

WWF募金は創立以来の活動で、20周年で募金総額100万円を突破しました。また、最近では生徒自治会と協力し、福岡西方沖地震の募金活動も行いました。

今後とも部員一同、積極的に色々な活動に参加していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

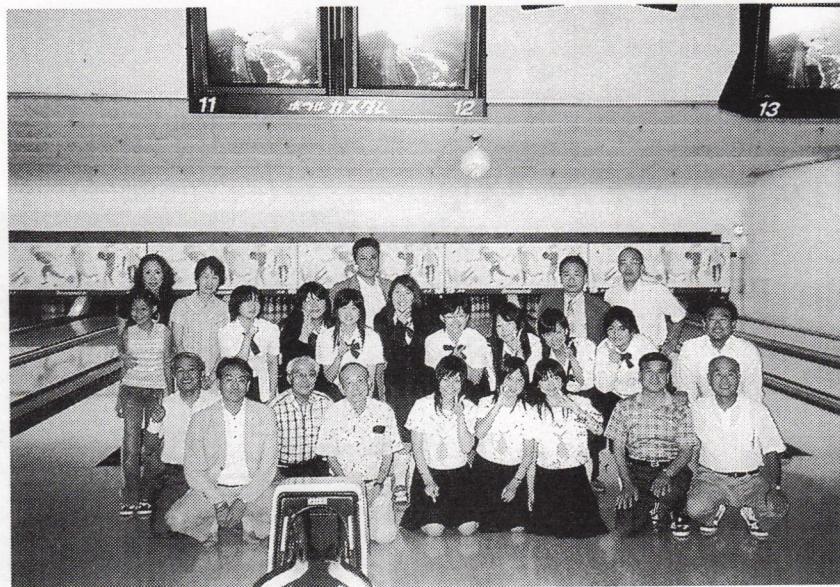
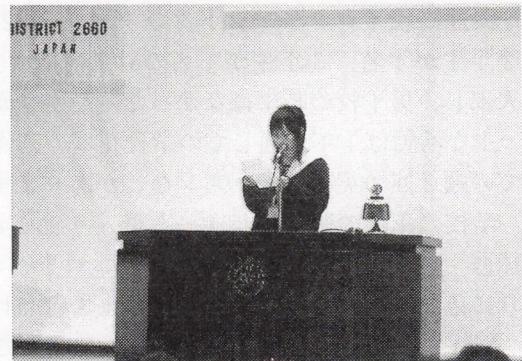


四天王寺高等学校・中学校インタークトクラブ

私たち四天王寺高等学校・中学校インタークトクラブは1983年に大阪阪南ロータリークラブの提唱のもとに結成され、現在19名で活動しています。

主な活動としては、週1回の例会、週2回の校外清掃をしています。本年度の新入生歓迎会では、バーベキューを通して他校のインタークーターたちとの親睦を深めました。毎年7月に行われるロータリアンの方々との交流会では、ボーリングを一緒に楽しみました。夏休みには海外研修に参加させていただき、現地や他校のインタークーターたちと楽しい時間を過ごすことができました。文化祭ではバザーやユニセフ募金、10月には上本町と四天王寺で赤い羽根の共同募金に協力しました。また11月から週に1回ホタルの幼虫の観察をしています。12月にはロータリーの方々のクリスマス会に招待していただいている。3月には卒業生の送別会を行っています。

私たちは、人の役に立てるように、これからも精一杯活動していくつもりですので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



金光八尾中学・高等学校インタークトクラブ

金光八尾IACは、現在部員4名で活動しています。正直4名ではなかなか思うような活動はできませんが、それでも忙しい合間をぬって活動しています。

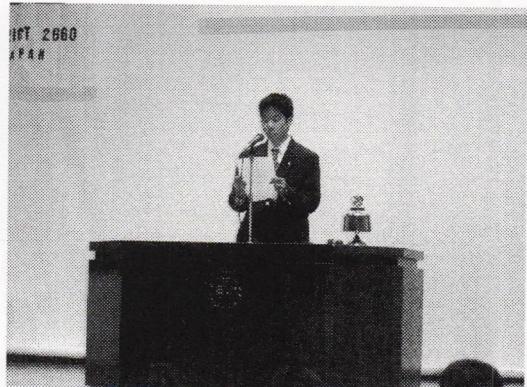
まず、最初の活動は新入生歓迎オリエンテーションです。これは、新入生を対象に、各クラブが活動内容や実績を、ビデオを使って紹介し、勧誘を行うというものです。インタークトクラブは普段の例会の様子を上映し、勧誘を行いましたが、例年に比べると新入生の入部は思うようにいきませんでした。来年度は存続をかけて、何とか進入部員を入れたいと思います。

次に大きな活動となるのが、7月の夏期奉仕活動です。この行事は本校の建学の精神に基づき、日ごろからお世話になっている学校近隣の皆様に、感謝の気持ちを込めて奉仕させていただくというもので、今年で21回目を迎える本校の恒例行事です。活動内容はインタークトクラブを中心となり、中学・高校の1年生とともに玉串川の川底のゴミを拾い集めたり、土手の草刈り、また通学路の清掃に加え、今年は、近隣の公園の草刈りや商店街の清掃を行いました。炎天下の中、腰まである長靴を履いての川の清掃や、日陰のない公園での草刈りは大変な重労働で、10分もすれば汗だくになりますが、作業中に近隣の方の「お疲れさん。」「いつもありがとうございます。」という声を聞くと疲れも吹き飛んでしまいます。また最近ではきれいになった玉串川で鯉が泳いでいる姿も通学途中に見ることができ、本当にやってよかったと思います。そして、ここでの頑張りが次の海外研修へつながるのです。

今年の海外研修は特に幹事校ということもあり、準備の段階から忙しい日々を送っていました。僕は特に代表としていくつかのスピーチを任せられていたので、それを考えるのに先生と2人で苦労しました。しかし、本番でそのスピーチが言えた時にはホッとしたことが忘れられません。いい海外研修だったと思います。

次に9月に文化祭があります。ここではみんなで持ち寄った物や近くの特別養護施設からお預かりした商品でバザーを行います。そして、この収益金は「ひばり障害者作業所」にお渡しするのですが、今年は残念ながら、準備が間に合わず実施することができませんでした。来年は是非復活させたいと思います。

以上が金光八尾IACの活動内容ですが、僕にとっては、このように多くの学校が集まり、日常とは違う交流ができることがIACの一番いいところだと思います。これからもドンドン積極的に交流活動をしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。



四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インタークトクラブ

こんにちは。四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インタークトクラブの山口瑞穂です。四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インタークトクラブは、平成14年度に活動を開始し、大阪南西ロータリークラブの提唱のもと、平成15年5月に結成記念式を行いました。現在は高校生4名、中学生3名で活動を行っています。しかし、結成当初からクラブの中心として、クラブを引っ張っていってくれた高校生4名が、今年度で卒業を迎えます。残された中学生3名で、どれだけの活動ができるのか、不安でいっぱいです。そこで今年度は、部員増加のための広報活動を中心に活動してきました。なかでも例年行っている、文化祭での募金活動は、学校内外にインタークトの名前を広げ、全生徒の奉仕に対する意識や興味、関心を高めることができれば、と一生懸命に取り組みました。その結果、インタークトクラブの活動に興味をもってくれる生徒も少しずつですが、増えてきました。本日も新しい部員がインタークトに興味を持ち、年次大会に参加してくれています。

このほかにも、海外研修の報告会として、大阪南西ロータリークラブの例会に参加させていただきました。また卒業していく高校3年生の先輩方の送別会を大阪南西ロータリークラブの方々と行いたいと考えています。

人数が少なく、思うような活動はできませんが、来年度も一生懸命に取り組んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いします。



相愛中学・高等学校インターラクトクラブ

相愛中学・高等学校IAC高3の佐合尚子です。私たち、相愛インターラクトクラブは、今年で結成2年目という、まだ浅い歴史ではありますが、高中生徒会役員を中心に、現在20名の会員で活動しています。

今年の活動は、1月8日今宮戎神社で催された宵々戎の日に、ローターアクトの方々が提案されたチャリティーバザーのお手伝いをさせて頂いたことから始まりました。これはアフガニスタンの子どもたちへ教科書を送るために開かれたもので、寒空の中、声を出して、お客様を呼び込むのは大変でしたが、すべての商品を売り切った時の達成感は格別なものだったことが思い出されます。

4月は学校に緑を増やすことを目的に花壇の植え替えを、5月には緑の羽根募金も行いました。

そして8月は海外研修に参加させていただき、シンガポールでは3520地区のインターラクターと楽しい交流のときを過ごし、また、この研修を通して、インターラクトの目標の1つである『国際理解』をすることができました。この場をお借りして、このような素晴らしい機会を与えてくださったロータリークラブの皆様に改めて御礼を申し上げます。

そして夏休みの終わりに、インターラクトの合宿を行い、今日の年次大会の内容を主に、今後の活動方針を話し合い、今よりもさらに充実した活動を検討していきました。その他、すでに恒例行事となりつつある、街美化やクリーンピックによる学校周辺と、御堂筋の清掃を定期的に行い、タバコの吸がらや、細かなゴミの多い、このオフィス街を少しでも綺麗に保とうと各自積極的に取り組んでいます。

以上、非常に簡単ではありますが、活動報告とさせていただきます。



2005~2006年

RI2660地区

インターラクトクラブ名簿

2005~2006年
R12660地区 インターアクトクラブ名簿

【地区インターラクト委員会】

役 職	氏 名	所属クラブ
新世代合同委員長会議議長	井 上 瞳 夫	千里ロータリークラブ
地 区 委 員 長	田 中 啓 之	大東ロータリークラブ
地 区 副 委 員 長	塩 野 秀 作	大阪ロータリークラブ
地 区 委 員	和 田 健	大阪阪南ロータリークラブ
地 区 委 員	高 山 修 治	大阪南西ロータリークラブ
地 区 委 員	大 戸 道 彦	大阪住吉ロータリークラブ
地 区 委 員	松 林 寛	大阪南ロータリークラブ
地 区 委 員	吉 本 憲 司	八尾ロータリークラブ

【各インターラクトクラブ例会・日時・会場】

ク ラ ブ	例会日	例会時間	例会場
清 風 学 園	土	2:00	教 室
大阪桐蔭中学・高等学校	月	5:30	教 室
浪速中学・高等学校	第1・3月	3:45	地学教室
四天王寺高等学校・中学校	金	1:00	多目的教室
金光八尾中学校・高等学校	第1土	1:00	第2学習室
四天王寺羽曳丘高等学校・中学校	火	放課後	512教室
相 愛 中 学 ・ 高 等 学 校	土	放課後	生徒会室

【清風学園インターラクトクラブ】

ADDRESS : 〒543-0031 大阪府大阪市天王寺区石ヶ辻町12-16

PHONE : 06-6771-5757 F A X : 06-6772-3882

SPONSORCLUB : 大阪南ロータリークラブ

ADDRESS : 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海15階1503号

PHONE : 06-6643-5288 F A X : 06-6646-5298

FOUNDED : 1975年7月22日

大阪南ロータリークラブ インターラクト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
中北 清	委員長	今西 邦夫	委員	塚本 邦彦	委員
志村 和久	副委員長	力身総一郎	委員	松林 寛	委員

清風学園インターラクトクラブ

《顧問》門田 三生夫・中村 明夫・池田 茂人

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
中嶋宗一郎	会長	高1	原口 貴臣		高1	吉田 征二		高1
広瀬 浩明	幹事	高1	吉村浩太郎		高1	富田 雄介		高1
榎本 秀宗		高1	三好新太郎		高1	原田 翔太		高1
百村 誠彩		高1	中西 祐貴		高1	峠口 侑哉		中3
村上 勝俊		高1	佐々木良輔		高1			
松地 大輝		高1	平山 大祐		高1			

【大阪桐蔭中学・高等学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒574-0013 大阪府大東市中垣内3-1-3

PHONE : 072-870-1001 F A X : 072-875-3330

SPONSORCLUB : 大東ロータリークラブ

ADDRESS : 〒574-0046 大阪府大東市赤井1-2-12 ポップタウン別館内

PHONE : 072-875-1200 F A X : 072-875-1200

FOUNDED : 1976年6月8日

大東ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
松原 清一	委員長	森山 信一	委員	清水 正義	委員
大東 弘	副委員長	木田 真敏	委員	田中 啓之	委員
田中 祥介	委員	西条 義昭	委員		

大阪桐蔭中学・高等学校インタークトクラブ

《顧問》仲谷 浩一・河津 浩司・清水 綾美

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
瀧上 真澄	会長	高2	田嶋 充貴		高1	勢山 亮		中3
高橋 良輔	副会長	高2	山岡 真子		高1	遠藤有梨沙		中1
成田 美穂	幹事	高2	藤田 結惟		高1	瀧上 実紗		中1
宮武 光樹	幹事	高2	岩本 行弘		中3	神戸 佑斗		中1
横井 和也	広報	高2	浅沼 昇佑		中3	磯村 淳		中1
六車 康平	広報	高2	高橋 慶考		中3	柿原 貴興		中1
鈴江 裕希	書記	高2	芳川倖太朗		中3			
鈴木 江梨		高1	加畠 文裕		中3			

【浪速中学・高等学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒558-0023 大阪府大阪市住吉区山之内2-13-57

PHONE : 06-6693-4031 F A X : 06-6693-6511

SPONSORCLUB : 大阪住吉ロータリークラブ

ADDRESS : 〒545-0052 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 近鉄百貨店本店内

PHONE : 06-6624-1111 F A X : 06-6621-8885

FOUNDED : 1982年4月1日

大阪住吉ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
大戸道彦	委員長	内田理恵子	副委員長		

浪速中学・高等学校インタークトクラブ

《顧問》大塚 真紀子・木村 智子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
泉俊行	会長	高2	坂本佑吾		高3	山川理佳子		高1
青木辰之	幹事	高2	金川尊允		高2	尾上律男		高1
竹内義宏	会計	高2						

【四天王寺高等学校・中学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒543-0051 大阪府大阪市天王寺区四天王寺1-11-73

PHONE : 06-6772-6201 F A X : 06-6773-4113

SPONSORCLUB : 大阪阪南ロータリークラブ

ADDRESS : 〒543-0055 大阪府大阪市天王寺区悲田院町8-11 新和興産ビル302号

PHONE : 06-6772-5816 F A X : 06-6779-7956

FOUNDED : 1983年3月17日

大阪阪南ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
口石 宏三	委員長	阪 広久	副委員長	野間 吾郎	委員

四天王寺高等学校・中学校インタークトクラブ

《顧問》岡 宏治・白崎 貢・野口 弘・立川有紀子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
片岡 友香	会長	高3	博多 紗弓		高3	渕野 友未		中3
柴田 美波	幹事	高2	大谷 祥代		高2	藤田 有可		中2
辻 有輝子	会計	高2	町田 真優		高2	山中 唯		中2
寺尾有理沙		高3	井上 和美		高2	瀧野 友理		中1
杉本有希奈		高3	島津 史奈		高2	栗原 律子		中1
竹下 亜実		高3	安賀 真生		高1			

【金光八尾中学・高等学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒581-0022 大阪府八尾市柏村町1-63

PHONE : 0729-22-9162 F A X : 0729-22-4496

SPONSORCLUB : 八尾ロータリークラブ

ADDRESS : 〒581-0003 大阪府八尾市本町2-2-8 八尾市商工会議所2階202号室

PHONE : 0729-91-2129 F A X : 0729-24-0010

FOUNDED : 1987年7月29日

八尾ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
石黒 嘉弘	委員長	植 健次	副委員長	高木 優一	委員

金光八尾中学・高等学校インタークトクラブ

《顧問》金崎 桂悟・前田 裕子・中西 久也・柏原 弘和

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
須齊 正也	会長	高2	後藤 大輔		高2	松本 陽祐		高2
木田 陽介	幹事	高2						

【四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒583-0868 大阪府羽曳野市学園前3-1-1

PHONE : 0729-56-6000 F A X : 0729-56-4822

SPONSORCLUB : 大阪南西ロータリークラブ

ADDRESS : 〒556-0014 大阪府大阪市浪速区大国1-3-20 居仁ビル3階3B

PHONE : 06-6643-8721 F A X : 06-6643-8722

FOUNDED : 2002年11月5日

大阪南西ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
小池 廣子	委員長	高地賀津仁	副委員長		

四天王寺羽曳丘高等学校・中学校インタークトクラブ

《顧問》土谷 直子

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
山口 志穂	会長	高3	景山 千尋		高3	上田悠郁子		中2
山本 敦子		高3	山口 瑞穂		中2	道下 麻実		中2
浜弓場 節		高3						

【相愛中学・高等学校インタークトクラブ】

ADDRESS : 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町4-1-23

PHONE : 06-6262-0621 F A X : 06-6262-0534

SPONSORCLUB : 大阪ロータリークラブ

ADDRESS : 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5-3-68

リーガロイヤルホテル418号室

PHONE : 06-6448-1211

FOUNDED : 2003年9月3日

大阪ロータリークラブ インタークト委員会

氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職
塩野 秀作	委員長	石原 福造	委員	近江源次郎	委員
津江 明宏	副委員長	松岡 一郎	委員	小浦 芳生	委員
稻畠勝太郎	副委員長	宮園 雅敬	委員	上野 昌也	委員
出口 澄龍	委員	岡島 正幸	委員	山本 一樹	委員

相愛中学・高等学校インタークトクラブ

《顧問》川西 清史・井上 泰朗

氏名	役職	学年	氏名	役職	学年	氏名	役職	学年
元村 恵梨	会長	高3	長尾真里奈		高1	西澤 裕希		中3
佐合 尚子	副会長	高3	町田紗奈江		高1	橋本 幸枝		中3
酒井 香奈	副会長	高3	辻井真優子		高1	秋山 美紀		中2
久米 真帆		高3	北野美津子		中3	小西 望月		中2
楠本 祥子		高3	北村 菜摘		中3	西成 彩夏		中2
堀 香菜子		高2	中村あゆみ		中3			
鶴見 奈央		高2	松田 麻里		中3			

編集後記

無事に「SCRUM No.31」の編集を終え、皆様にお届けすることができました。2005年を振り返ってみると、子どもたちが被害者となる事件が連日のように報道される1年であったように思います。それとともに、スポーツ界における10代の若者たちの目覚しい活躍も印象に残っています。

10代の若者たちといえば、インタークリークの活動も活発に行われました。8月のシンガポールへの海外研修では、現地のインタークリークや子どもたちとの交流を通して、『異文化理解の大切さ』『国際社会の一員としての役割』を、11月の年次大会では『奉仕の精神』をそれぞれ自分たちの目で見て、体で感じて、学んだことだと思います。私自身、1年間の活動を通して、中高生という感受性豊かな時期にこのような活動ができるインタークリークたちを羨ましく思っています。またこの度、SCRUM編集を通して、皆様から寄せられた原稿を見ていますと、我々大人たちが期待している以上に、インタークリークはこの経験を自分自身の心の糧としていることがわかり、とても嬉しく思いました。今後もより一層インタークリークの活動が活発化することを期待したいと思います。

最後になりましたが、初めて編集担当校にあたり、分からぬことも多く、不手際も多かったのではないか、と思いますが、田中委員長をはじめ、ロータリークラブの方々や、各校の顧問の先生方のご協力を得て、発刊に至りました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。有難うございました。

四天王寺羽曳丘高等学校・中学校IAC
顧問 土谷直子

発行 R. I. 第2660地区インタークリーク委員会
担当校 四天王寺羽曳丘高等学校・中学校IAC
編集者 田中 啓之（地区委員長）

発行日 2006年
印刷 株式会社 三協印刷社



